

次期田原市総合計画策定にかかる

まちづくり市民会議

【都市整備・消防防災部会 提言書】

令和5年4月



【はじめに】

私たちが4回にわたり意見交換をした「まちづくり市民会議【都市整備・消防防災部会】」の結果をとりまとめ、報告するものです。

この内容が次期総合計画に生かされるとともに、市民視点のまちづくりを具体的に進めていくことを期待します。

【部会員氏名】 ※50音順

天野 英一郎
河合 伸久
坂本 直也
宮川 敏彦

魚躬 功
河合 真樹
鈴木 進

岡本 卓三
小久保 賢二
鈴木 玲子

1 都市整備・消防防災部会の検討領域

都市整備・消防防災部会で検討した領域は、「交通基盤、公共交通、港湾・河川・海岸、市街地、地域・住環境、上下水道、自然環境、緑と景観、消防・救急体制、防災・減災体制」に関することです。

2 私たちが未来に伝えたい「田原市の宝」

私たちが感じている「未来に残したい田原市の良さ」「田原市の宝だと思えるもの・こと」について意見交換を行いました。各部会で出された意見を、都市整備・消防防災部会の検討領域において整理・集約すると次のようになります。

①海・山などの自然豊かな常春の環境

海や砂浜、山や緑、常春といわれる日差しが降り注ぐ温暖な環境など、自然景観が美しく、豊かです。また、山や海が生かされたまちづくりがされており、美しい風景や景勝地があります。半島であり、立地そのものが強みとなっています。

②静かで安全な、暮らしやすいまち

静かな環境、安価な土地、安全な地域であること等、人々にとって暮らしやすいまちです。また、人が多すぎないこと、土地が広く安価であること、治安が良いことなどが住むのに適しており、暮らしやすいまちです。

③コミュニティを基盤とした消防団などの地域の防災力

いざという時に活躍する、地域で組織される消防団や自主防災会があり、多くの市民の安全・安心が守られています。

④様々な活動の基盤となる地域コミュニティの絆

市民に助け合いなどの人情があって人にやさしい気風があり、近所の人同士やコミュニティにおけるつながりが強いので、様々なまちづくり活動の基盤となっています。

宝にしたいもの

※半島の特性を生かした交通にしたい

田原市の東西に長い市域に沿って、国道 42 号、国道 259 号が通っているのが特徴です。また、鳥羽市とつなぐフェリー航路があり、伊勢湾を眺めることができる海上交通機関があります。

3 「田原市の宝」を未来に伝えるための“不安”や“期待”

前ページで示すような「田原市の宝」を未来に伝えていこうとすると、現在の田原市においては次のような不安や期待があります。

田原市の宝	区分	主な内容
①海・山などの自然豊かな常春の環境	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の良さが活かされていない、保護・活用されていない ・自然を守る、活かす市民意識が薄い ・災害(地震・津波等)の危険性、風が強く寒い特性
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 等による魅力発信 ・スポーツ(トライアスロン等)の人気の高まり ・地域の環境保全に取り組む市民活動
②静かで安全な、暮らしやすいまち	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、就業者、観光客等、すべての人口ボリュームが減少 ・城下町らしさやわくわく感等がなく、まちのイメージが不明確 ・宅地が少ない一方で空き家が増加 ・畜産農業における堆肥等の悪臭問題 ・地域によって人口減少に格差がある
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・増加している窃盗犯罪等への防犯カメラによる抑止
③コミュニティを基盤とした消防団などの地域の防災力	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少等に伴う消防団員の減少 ・若者が消防団に入りたがらない、消防団の重要性が伝わっていない ・南海トラフ地震の発生確率が上昇
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する、考える若者がいること ・女性防災リーダー等の女性の参画
④様々な活動の基盤となる地域コミュニティの絆	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・地域組織の弱体化 ・コミュニティ活動への不参加、地域のつながりの希薄化 ・公共施設(市民館、支所等)の老朽化
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のことを想う人材がいる
宝にしたいもの半島の特性を生かした交通	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・集落内の道路が狭い、舗装が悪い、渋滞箇所がある ・バス交通が不便 ・幹線道路がなく、伊良湖から豊川ICまでが遠い ・今後の鉄道のあり方
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・「渥美半島道路」ができれば防災力向上、観光客誘致、人口誘導等が期待できる

4 「田原市の宝」を未来に伝えるために、今、取り組むべきこと

都市整備・消防防災部会では、前ページであげたような不安と期待を踏まえ、「今」何に取り組んでいくべきなのか、今後 10 年間の総合計画を見据えた取組のアイデアを次のように提案します。

特に実施すべきだと考える事項は★マークのものであり、優先的に取り組むことを期待します。

田原市の宝① 海・山などの自然豊かな常春の環境

市民の取組案

- 自分の家、地域において花や樹木を増やしたり、定期的な草刈りや剪定、地域の清掃等を行ったりし、美しくうるおいある環境をつくる。
- 家族等で田原市内を旅行してみたり、散策したり、街歩きをしたりするなど、地域を客観的に見つめる機会を持つてみる。
- 豊かな自然の中で行うアウトドアスポーツに参加してみる。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 有名なシェフを招聘して地域の農産物・海産物(キャベツ、あさり等)を生かした料理を発信するなど、ブランド力を高める取組を行う。
- 海の幸を手軽に味わえる場や機会の創出、おしゃれな店の集約、インスタグラムや人気ユーチューバーの活用等により、田原市の自然の美しさや良さを発信する。

行政の取組案

- ★ 赤羽根地区を中心に、サーフィンに特化した施設(例:「サーフスタジアム」)を整備するなど、田原市の立地・自然を生かしたサーフィンの活性化を図る。
- 自然を生かした体験型プランやスポーツイベントなど、田原市の豊かな自然に触れる機会をつくる。

田原市の宝② 静かで安全な、暮らしやすいまち

市民の取組案

- 田原市の暮らしやすさについて、メディア(SNSやテレビ番組等)を使った情報発信をする。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- ★ 名称の統一など、「市」のブランド力・知名度・認知度を高めるための工夫を行う。
- 暮らしやすいまちのために、まず人口減少に歯止めをかけるよう高校生等の若者へ働きかけを行う。

行政の取組案

- 都市計画法(第 34 条第 11 号)に基づき、市街化調整区域内の集落で一定の基準を満たした区域について住宅等の立地基準を緩和し、人口減少に歯止めをかける。
- 空き家の所有者に独自の税金を課したり、相続手続きを簡略化したりするなど、空き家を放置しにくい環境をつくる。

★ 子どもの数に応じて減税を行う等、独自の子育て支援策を講じることで子育て世帯を呼び込むとともに出生数の増加を図る。

- 田原市で新たに建築する住宅敷地を広く確保するなど、ゆとりのある住環境を PR する。

田原市の宝③ コミュニティを基盤とした消防団などの地域の防災力

市民の取組案

- 各コミュニティに女性防災リーダーをつくり、防災に関する活動者の増加を図る。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 消防団の認知度向上やイメージアップを図るとともに、行事、大会、訓練等の各種活動の内容を見直すことで活動の魅力を高める。

行政の取組案

- 狭い道路を広げたり、舗装を改善したりするなどして、緊急時にもスムーズに利用できる道路を整備する。

田原市の宝④ 様々な活動の基盤となる地域コミュニティの絆

市民の取組案

- 大人が前向きに、楽しそうにコミュニティ活動に参加する姿を子どもに見せる。
- 小学校の運動会に地域住民が参加できるようにするなどし、世代間交流を図る。

行政の取組案

★ 高齢者が集まってコミュニティを形成する「シルバータウン」をつくる。

- 地域の防犯活動について、地域コミュニティが調査・検討した防犯対策に対し市が補助するなどして、安全な暮らしやすいまちにする。

宝にしたいもの 半島の特性を生かした交通

市民の取組案

- 家族で散歩しながらゴミ拾いをするなど、道路を美しく保つ。
- バスや鉄道などを積極的に利用し、「乗って残す」意識を持つ。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 電車やバス、海上交通などの公共交通機関の乗り継ぎやパーク＆ライドなどにより、車利用者との接続をしやすくする。
- 自転車やサーフボードなどを一緒に載せることができるバスを運行させたり、ロングビーチ沿いをバスが走ったりすることで、スポーツをしに田原市に来る人の利便性を高める。
- 国指定の「ナショナルサイクルルート」(国土交通省が指定するソフト・ハード両面から一定の

水準を満たすルート)を活用し、サイクルツーリズムの推進を図る。

- 移動手段の一つとして、他市で導入している乗り合い送迎サービスなど(例:アイシン「チョイソコ」)の導入を検討する。
- パーク&ライドがしやすくなるよう、田原駅南駐車場から三河田原駅までのアクセスを改善する。(地下道にするなど、雨天でも利用しやすく)

行政の取組案

- ★ 道路の拡張、アスファルト舗装の改善など、人が歩きやすく、車が走りやすい道路整備を行う。
- ★ コミュニティバスのデザインを、市民に親しみやすいものに刷新する。
- ★ 幹線道路の整備とそれに連絡する市道の整備計画の策定。